

# 白門四八会

中央大学学員会白門48会会報 17号  
(題字：故 中央大学総長 高木友之助先生)

発行日：平成23年11月11日  
発行人：小田眞一  
発行所：中央大学学員会白門48会  
東京都千代田区神田駿河台3-11-5  
中央大学駿河台記念館学員会事務局  
TEL：03-3219-6175  
印刷所：㈱ディスカバリー

17

## 白門48会第13回総会・懇親会を開催



## 小田眞一氏を新会長に選任

### 第13回総会報告

総会では以下の各議案が提案された。

■一号議案 二〇二〇年度事業

報告並びに決算について

事業報告は石坂幹事長から、

決算報告は国領会計監査から、

監査報告は飯塚会計監査から行

われそれぞれ満場一致で承認さ

白門四八会第13回総会・懇親会が、二〇二一年六月十一日(土)京王プラザホテルで開催された。当日は、会員三十六名が参加。また、来賓として、大学から久野修慈中央大学理事長・中央大学学員会会長、同期会支部からは、室勝弘白門四五会会長、増田晃次郎白門四六会会長、権守隆男白門五三会幹事長の参加をいただいた。

れた。(決算報告は別掲参照)

■二号議案 二〇二一年度事業計画(案)について

■三号議案 二〇二一年度予算(案)について

一括して石坂幹事長から提案され満場一致で承認された。(予算は掲載省略)

■四号議案 任期満了に伴う役員改選について

佐藤会長から、幹事以外の役員は会則により二年任期で約半数が交代することになっており、今年には会長をはじめ役員改選年となっている旨の報告があった。引き続き、議長が改選役員の立候補者を募ったところ、立候補者がなかったことから、佐藤会長から、別紙の通り改選となる役員を推薦したいとの提案が



挨拶に立つ佐藤会長

あり、満場一致で承認された。(二〇二一年度役員一覧は別掲参照)

■五号議案 会則改正について(賞罰規定の新設)

佐藤会長から、白門四八会の名誉と品位を常に維持するための賞罰規定を会則に追加したい旨の提案があり、提案通り会則を改正することが満場一致で承認された。

■六号議案 東日本大震災義援金について

佐藤会長から、未曾有の大震災の中で現地の学員、学生、ご父母などの中央大学関係者の多くも被災されていることから、白門四八会として被災者支援のために義援金を募集したいこと、その一環として今回の総会・懇親会の参加会費の中から、一人二千元を義援金に充てたいとの提案があり、それぞれ満場一致で承認された。



石坂幹事長による事業報告



乾杯  
管弦楽の  
生演奏▶



惜別の歌の大合唱

音研学生の生演奏のもと、にぎやかに懇親会

引き続き懇親会では、久野修慈中央大学理事長・中央大学学生会会長から祝辞があり、一二五周年募金について、次支部では突出した成果をあげた白門四八会への賛辞と謝意が述べられた。室勝弘白門45会会長の乾杯の音頭に続き、懇親会に入り、音楽研究会管弦楽学部学生五人の生演奏のもと、高層ホテルからの都心の夜景を堪能しながら、来賓のあいさつ、初参加者の紹介や恒例の抽選会があ

り、「白門四八会合唱団」を指導しておられる河口三千代先生の指揮のもと「サライ」と「翼をください」を全員で熱唱。最後は生演奏をバックに校歌、惜別の歌を大合唱し、「フレイフレー中央」を行ってお開きとした。二次会（反省会）も同ホテルの別室で行われ多くの参加者がそのまま参加した。

### 平成22年度 白門48会決算

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
会費	505,000	専業費	526,580
72人分		白門48会会報第15号製作費	150,000
臨時会費	305,000	同好会助成金	0
総会懇親会参加費(25×@700)	245,000	地方支部活動費	0
総会二次会参加費(20×@300)	60,000	ホームcomingデー賞品	0
寄付金・祝い金	50,010	「留学生の願い」協力金	0
お祝い金	40,000	ホームページ維持・管理費	16,800
寄付金	10,010	総会パーティー費(懇親会)	257,280
広告料(48会会報)	15,000	総会パーティー費(二次会)	72,500
会報掲載分(3×@5000)		総会パーティー費(講師謝礼・演奏等)	30,000
学生会支部補助金	50,000	接待交際費	80,075
支部活動補助金		年次支部協議会	10,000
125周年活動経費	241,050	留学生旅い包金	5,000
雑収入	0	支部総会等包金(37, 46, 57, 2011会、横濱)	60,000
預貯金利息	132	手土産代(大平台地主)	5,075
		慶弔費	3,832
		弔電	
		3,832	
		広告宣伝費	30,000
		会員時報賞詞広告	30,000
		新年次支部設立広告(2011白連会)	0
		ホームcomingデープログラム広告	0
		雑費	133,274
		文具、消耗品費	31,278
		通信運搬費	88,088
		委託手数料	12,910
当年度収入計	1,166,192	当年度支出計	773,761
未収入金	△ 306,050	未払い金	△ 53,832
前年度繰越金	2,013,744	次年度繰越金	2,153,957
合計	2,873,886	合計	2,873,886

平成23年6月10日

白門48会会長 佐藤愛子 (印)

会計部会担当副幹事長 成田清治 (印)

平成23年6月18日

会計監査 飯塚恭子 (印)

会計監査 国領義男 (印)

### 平成23年度 白門48会役員

- |       |              |                                     |
|-------|--------------|-------------------------------------|
| 会 長   | 小田 真一(商学部)   | 新任2013年3月31日まで                      |
| 副 会 長 | 森田 秀樹(法学部)   | 新任2013年3月31日まで(会員増強担当、九州支部活性化担当)    |
|       | 新倉 利明(経済学部)  | 新任2013年3月31日まで(会長代行、関西支部活性化担当)      |
|       | 井沢 和夫(商学部)   | 新任2013年3月31日まで(渉外担当、箱根駅伝応援担当)       |
|       | 小野塚喜代一(理工学部) | 2012年3月31日まで(同好会活動担当)               |
|       | 藤野美知子(文学部)   | 2012年3月31日まで(東日本大震災義援金担当、東北支部活性化担当) |
| 幹 事 長 | 横田 利久(商学部)   | 新任2013年3月31日まで                      |
| 副幹事長  | 長谷川孝雄(理工学部)  | 事業部会・事務局担当 再任2013年3月31日まで           |
|       | 佐藤 豊(経済学部)   | 会計部会担当 新任2013年3月31日まで               |
|       | 榎本 真一(文学部)   | 広報部会担当 新任2013年3月31日まで               |
| 担当幹事  | 堀井 勉(理工学部)   | 箱根駅伝渉外担当委員長                         |
|       | 佐藤 愛子(文学部)   | 学生会担当委員長                            |
|       | 三森 孝悦(理工学部)  | 総会実行委員長                             |
|       | 石坂 隆(法学部)    | ホームページ担当委員長                         |
| 地方支部  | 黒羽 一記(文学部)   | 関西支部長 再任2013年3月31日まで                |
|       | 三澤 壯義(商学部)   | 東北支部長 2012年3月31日まで                  |
|       | 橋本 博(経済学部)   | 九州支部長 再任2013年3月31日まで                |
| 会計監査  | 飯塚 恭子(文学部)   | 2012年3月31日まで                        |
|       | 国領 義男(経済学部)  | 2012年3月31日まで                        |

会長就任に当たって

### 皆さんが主役の 四八会



小田 眞一  
(商学部)

このたび、白門四八会総会で  
会長に選任されました小田です。

前期まで、会長を務められた  
佐藤さんをはじめ、執行部を運  
営された皆さん、本当にお疲れ  
様でした。昨年は、中央大学創  
立一二五周年記念式典が催され  
るなど、非常に重要な年でした  
が、十分に任務を果たされまし  
たこと、心よりお礼申し上げます。

前執行部においては、中央大  
学一二五周年記念式典に向け、  
累計一、二五〇万円の募金達成  
が大きな課題でしたが、会員の  
皆さんの賛同を得て達成するこ  
とができました。

また今年になってからは、佐  
藤会長より、三月の東北大震災  
で被災された学生や学員を支援  
しようとの提案があり、幹事会  
で決定しお知らせしたところ、  
これまでに五〇数万円の募金を  
していたことができました。  
これも会員の皆さんの熱い気持

ちの表れと、あらためて感謝申  
し上げます。

今年三月に東北地方でM9の  
大地震、津波、原発事故の大災  
害が次々に発生し、被災地の皆  
さまには大変な事態となってし  
まいました。友人や知人のなか  
には、親族の方を亡くされたり、  
自宅に大きな被害を受けた方も  
いらっしゃると思います。

そんななかで、日本人の遵法  
精神や助け合い、分かち合いの  
精神が世界から注目を集めるこ  
ととなりました。海外からの報  
道によって、われわれは、忘れ  
かけていたことや当たり前と  
思っていたことをあらためて認  
識し、日本人に生まれてきて本  
当に良かったと思えました。こ  
れからも、日本人として尊厳を  
持ち、苦しさを分かち合い、み  
んなで助け合い、感謝の気持ち  
をいつも持つていたいと思いま  
す。

先日、なでしこジャパンが、  
ワールドカップで優勝しました  
が、選手は負けていても、最後  
まで決してあきらめずに戦い、  
最終的には勝利しました。試合  
の都度、世界に向け「大震災で  
の世界の皆さまからの支援に  
感謝」の横断幕を持って一礼し、  
日本の代表として、国民全員の  
気持ちを表していました。選手  
がみんな考えたこととのこと  
ですが、なかなかできないこと

だと思えます。この謙虚さや感  
謝の気持ち、結果的に優勝に  
つながったものと思えます。

さて、昨期の行事を振り返りか  
えてみましたら、四月の花見  
をはじめ、春秋の大学野球応援  
七月の花火やボート部応援、夏  
の合唱団軽井沢合宿、十月の出  
雲駅伝応援、十一月の全日本学  
生駅伝(伊勢)応援、十二月初  
めの箱根横断幕設置忘年会、同  
月下旬の江戸文化徘徊の会、暮  
れの第九や中大音研のコンサ  
ート鑑賞、正月の箱根駅伝応援、  
新年会など盛りだくさんの行事  
が行われていました

今年、三月の花見は中止と  
なりましたが、五月には東北の  
皆さまへのお見舞いツアーや、  
箱根ハイキングも行われました。  
九月には、付属となった横浜山  
手中学・高校周辺を散策する企  
画があり、十月には、恒例の出  
雲大学駅伝応援(萩・津和野経  
由)や温泉&ハイキング、十一  
月には、全日本大学駅伝(伊勢)  
応援ツアー等が行われます。

今年度からは、会員だけで懇  
親を深めるだけでなく、家族や  
他の年次の学員や友人も積極的  
にお誘いしたいと思えますし、  
また、白門四八会として、大学  
への貢献や後輩たちへの助力も  
念頭におきたいと思っています。  
白門四八会は、皆さんが主役  
ですので、いろいろな事を提案

していただき、執行していき  
たいと思えます。皆で誘いあって、  
多数の方に参加いただければと  
思います。

これからも、気楽で、フレ  
ンドリーな会を運営していきたい  
と思っておりますので、よろし  
くお願い申し上げます。

#### 副会長就任に当たって

#### 貴重な 同級生の気楽さ



森田 秀樹  
(法学部)

初めて会報に投稿させていた  
だきます。

私が四八会活動に初参加した  
のは三年半程前、大平台で箱根  
駅伝応援を皆さんと一緒した  
時ですが、昨年度からは、色々  
な活動に参加させていただいて  
おります。

四月筑波公園でのお花見、七  
月暑気払い、八月戸田花火大会  
や、十一月には泊りで伊勢での  
全日本大学駅伝応援にも行きま  
した。以前から念願の伊勢神宮  
参拝も出来ましたし、応援場  
所では四八会仲間や地元の中  
央大学OB達と一緒にあって  
熱気(中央コール)したのも大

白門48会会長  
中央大学商議員

小田 眞一

〒178-0063  
東京都練馬区東大泉2-5-1-407  
090-6469-7737  
mail:si-ma1982@excite.co.jp

# 地方支部のページ

## 東北支部

### 東日本大震災を 体験して

支部長 三澤 壯義  
(商学部)

今年三月十一日午後二時四十分、大地震と大津波が東日本を襲いました。大津波は、東北の沿岸五五〇kmに亘る各市町村に壊滅的な被害をもたらしました。平安時代の貞観津波以来、一一〇〇年ぶりの大津波で仙台平野の内陸五kmまで達しました。私は、新幹線で東京から仙台に帰る途中でした。新白河付近を時速二七五kmで走っている時でした。地震が起きる前に緊急停止装置によりスピードを下げる事が出来たので、脱線を免れました。

何が起きたのか分かりませんでした。座席の後ろでインターネットテレビを見ている人が、「宮城県続いて茨城県でも大地震が起きています。仙台平野は、海みたくになっている」と言っているのを聞いて、九九%



避難所でも明るく意気軒昂な三澤さん

の確率で起こるとされていた宮城県沖地震が、とうとう起きてしまったのかと思えました。翌晩、仙台に戻りましたが、私の自宅はコップ一個の被害で済み、八階建のビルも建物本体は大丈夫でしたが、七、八階にある事務所はすべての書類棚が倒れメチャメチャでした。電気は四日間ぐらいで復旧しましたが、水道は二週間程断水したままでした。

私の顧問先の被害は、津波により全壊が一件、半壊が二二件、一部損壊が三三件で、気仙沼の歯科の先生が一名死亡されました。二週間後、仙台平野から近い閑上漁港に行ってみましたが、事業所や自宅の建物とい

う建物がすべて流され土台だけが残っている状況で、見ていると涙が出てきてしまいました。行方不明になっているところが住んでいた女川に行つて来ました。海拔一七mの高台にある女川町立病院の駐車場に、町内を走っていた自動車が打ち上げられる程の二〇mの高さに達する巨大津波が襲ったのです。すべてのものが破壊しつくされ町には、がれきの山だけが残っていました。

沿岸部の市町村では、職場の事業所が流され失業してしまつた人が、約一万人もいます。早く事業所が再開して、経済的にも復興していただきたいと願わずにはいられません。事業者の二重債務の問題も含め、迅速な国の復興支援が望まれます。

## 関西支部

### 2011年・雑感

支部長 黒羽 一記  
(文学部)

二〇一一年の大きな出来事といえは、三月十一日に発生した「東日本大震災」に尽きます。発生して八ヶ月にもなろうとしており、未だ被災地では、震災の傷が癒えぬ状態が続いて



モンゴルの首都ウランバートル郊外に広がるゲル集落

おり、一日も早い復興を願うばかりです。かつて関西において、一九九五年に阪神淡路大震災が発生し、私も当時大阪に住んでおりましたので、震災の悲惨な状況を目の当たりにしており、神戸の被災地には、何度となく足を運んだ経緯があります。東日本大震災では、国内はもとより世界各国からボランティアの方々も駆け参り、今もなお多くの人が被災地で活動されています。私の周辺にも、阪神淡路大震災で助けてもらったのだから、今回は東北に行くのだという人が何人もいました。私自身、今回の震災へは義援金というかたちでしか力になれませんでした。ボランティアは、その人の自由意思で行うもの、人それぞれが出来うる範囲で行えばいい、お金のある人は義援金、

白門48会幹事 総会実行委員長  
温泉同好会代表

三 森 孝 悦

〒187-0045  
小平市学園西町2-12-26-102  
090-1691-5321  
Email: mtaka1950@pc-space.com

白門48会副会長

藤 野 美和子

090-2644-9910  
mail: cochikun.1951@docomo.ne.jp

白門48会副会長

井 沢 和 夫

〒245-0013  
横浜市泉区中田東4-37-26

中央大学学員会 白門48会副会長  
中大技術士会  
株式会社総合環境計画(取締役)  
認定NPO法人自然環境復元協会(理事)  
いばらぎ・環境再生医の会(代表)

小野塚 喜代一

〒302-0102  
茨城県守谷市松前台7-18-11  
TEL・FAX: 0297-45-8457  
e-mail: kiyono25@way.ocn.ne.jp  
外出先: kiyochi.onozuka@gmail.com  
携 帯: 090-4377-2511

体力のある人は被災地での手伝い、料理の得意な人は食事づくりと、人それぞれの得意分野を發揮して役に立つのが一番かと思えます。

私自身、十数年前から、世界の貧困児童を支援するNGO活動に関わっており、この八月にもモンゴル西部にあるウルギーというところに支援活動で訪問しました。今回の訪問で、地元の子供たちから「地震は大丈夫か？」と心配の声を掛けられました。支援に行った我々が逆に子供たちから励ましの言葉ももらいました。このように世界中をもらっていることを忘れないでいきたいものです。

## 九州支部

### 設立して三年

### 活発な活動

支部長 橋本 博  
(経済学部)

白門四八会九州支部を二〇〇九年に設立し三年が経過しました。

私たち同級生は二〇一一年三月に定年退職者として社会生活を終えた者が多くいます。

昭和四十四年二月、ロックアウトの中の大学受験から入学式

もないままの授業再開、学園紛争の波にのまれた学生時代でした。四年間で数回のレポート試験でしたが、無事卒業を迎えた日の喜びは六〇歳を過ぎても未だ忘れることができません。それぞれが自分の人脈を最大限につかい探した就職先、多くの思い出を残した中央大学お茶の水での出来事です。

人生の区切りを迎え、大学での出来事は我が青春そのものです。学費稼ぎにアルバイト、ゼミに運動部での活動、中央大学生みなさんがそれぞれ自分の人生設計に懸命に挑戦していた。振り返れば貴重な時間でした。私も同様、教育公務員高校教員を三月三十一日無事勤め終え、現在は毎日のんびりした希望のとりの定年後の生活を送っています。

九州白門四八会はそれぞれの県内で皆さんが大活躍されているメンバーの集まりでもあり、第一回の会議には東京四八会本部の皆さんの度肝を抜く集合体に九州男児の心意気が十二分に伝わった設立総会でもありました。早三年が経過しましたが、私、橋本が在住しています宮崎県内においては、年間を通して二ヶ月に一回の飲み会かゴルフコンペを開催し、四八会の懇親を深めています。県内一〇名の四八会メンバーがどれかの会に毎回参加しています。

また、硬式野球部宮崎キャンプの際には東京四八会有志のみなさんと野球部OB会懇親会に飛び入り参加したり、活動は活発に行っています。また、宮崎白門四八会会員はゴルフや飲み会の際には四五会、五〇会の皆さんに声を掛け、世代間融合を図り、大変楽しく第二の中央大学白門会の青春を謳歌しています。

## 今後の行事予定

10月23日に開催を予定していた第21回ホームカミングデーは、東日本大震災の影響により中止となりました。

- 2011年12月3～4日 箱根駅伝応援用横断幕設置 (兼忘年会)
  - 2011年12月(日時未定)江戸文化徘徊会
  - 2012年1月2～3日 箱根駅伝応援 (箱根大平台)
  - 2012年1月中旬 新年会
  - 2012年2月3～4日 関西支部主催 「冬の京都を歩く」
  - 2012年3月12日 第90回幹事会 (駿河台記念館)
  - 2012年4月上旬 白門48会お花見会
  - 2012年4月12日 第91回幹事会 (駿河台記念館)
  - 2012年5月11日 第92回幹事会 (駿河台記念館)
  - 2012年5月 ハイキング・温泉同好会
  - 2012年6月16日 第14回総会・懇親会
- ※そのほか毎月定例  
白門48会合唱団練習会

白門48会副幹事長  
なみきみち社 代表

榎本 真一

〒236-0005  
横浜市金沢区並木1-17-12-1305  
090-3504-0985  
mail : kinatu.s@titan.ocn.ne.jp

白門48会副幹事長  
東京都知事(7)第46068号  
株式会社エスティック代表取締役

佐藤 豊

〒150-0051  
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-16-14  
ワコー代々木ビル5F  
090-3516-2735  
mail : sato@sdec-corporation.jp

白門48会副幹事長

長谷川 孝雄

〒335-0022  
戸田市上戸田5-24-3  
080-1168-0036

白門48会幹事長

横田 利久

中央大学横浜山手中学校・高等学校

## 四八会と私

藤野美知子  
(文学部)



三月に六〇歳の誕生日と退職を迎え、私の人生の第三章が始まりました。

「自然児」「女ターザン」などと言われ、丈夫だけがとりえの私でもこの一年はギックリ腰、

日光アレルギー、膀胱炎、高血圧……と大病とまではいかないながらも通院が増え、身体も変わっていく大事な時期なのだと感じます。

仕事は少し荷が重かったもので退職で得たこの解放感は何ものにも替え難く嬉しさでいっぱいです。二十二年間渉外の仕事をここまで続けてこられたのは、自分だけでなく、家族が健康であつたことと、友人・同僚をはじめとする周囲の温かい励ましのおかげであり、感謝してもしきれぬものではありません。

これからの毎日は「楽しく生きよう！」と決めました。悲しいことや辛いことは人並みに経

験してきましたから。

太極拳、一日六時間のパソコン講習、四八会のハイキング等、新しくプチ挑戦も始めました。その四八会との出会いは、会の立ち上げ準備段階で、前会長の佐藤愛子さんからの誘いでした。会議に出席してみると、各学部の幹事の方々の活発な発言や、議長横田さんの進め方にインテリジェンスを感じました。

職場の緊張感とも地域の自治会活動とも、女性同士の集まりとも違う、昔同じ時代と同じところにあったのだという懐かしさのある新鮮さでした。その知的刺激が快く、毎月十二日(四たす八)には横浜の山奥から神田

まで通ったものでした。

私自身は企画力も事務能力もないので、出版社を営んでいらっしゃる同級の榎本さんへのこの会にお誘いし(かなり強引に)、要職についていただいたことが唯一の貢献です。発足後の餃子の宇都宮行、大箱根駅伝応援等、楽しい思い出もいっぱいです。

仕事の負担からしばらく参加できずにおりましたが、昨年再び四十数年来の友人である愛子さんから声がかかり、定期的に参加するようになりました。当初からの熱いメンバーに加え、続々と各々の世界で活躍さ

れている素敵な紳士が増えていて、役員さんのご尽力ぶりを感心しました。

数年ぶりに同好会の行事に参加させていただきましたが、初対面でも安心してお話していただけるのがこの会の魅力の一つです。何年もブランクがあつても、知人がいなくても、初めてでも、すぐに溶け込めます。

ちよっぴりでも興味をもたれた方、自由時間のできた方、どうぞお出かけください。小田会長はじめ、四八会のスーパードイ佐藤愛子さん、ほかの皆さんも温かく迎えてくれます。みんな楽しんで時間をつくりましょう。

## 四国は緑のダイア

高木 英一  
(商学部)



香川白門会  
議場に立つ高木さん

四国高松在住の高木です。遠く四国高松の地より近況報告させていただきます。

大学卒業後サラリーマン経験を経て三三歳の時に独立、約

二〇年の会社経営(今は妻が経営)の後、思いがあつて平成十五年ふるさと牟礼町の町長選挙に立候補し当選。政治の世界に入りました。その後が大変で高松市との合併について議会で二度否決され、町長を辞任。合併の賛否を問う町長選挙に挑戦し、大差で当選。平成十八年一月十日、牟礼町は高松市と合併しました。合併新法下初の合併でした。合併を軌道に乗せるため、今度は高松市議会議員となり、平成十九年四月に再選され、四年で四回の選挙を戦いました。

市議時代の五年二カ月間で、牟礼町長時代に描いていたま

づくりの思いがほぼ実行でき、後は県がらみの仕事が多いことから、昨年十一月末香川県議会議員選挙に立候補することを決意し、今春の県議選に立候補しました。結果は香川白門会をはじめ多くの方々のご支援を得て、高松選挙区で九位(定員一五)で当選させていただきました。

県議となり出会った言葉が『四国は緑のダイア』です。源平合戦で有名な屋島から望む多島美の備讃瀬戸は、その美しさから昭和九年三月、日本初の国立公園に指定されましたし、その瀬戸内海を、武士道で有名な新渡戸稲造は「瀬戸内海はまさ

に世界の宝石なり」と言っています。朝日夕陽のすばらしさのみならず、サンゴ礁・スキー場・清流四万十川に海・山・阿波踊り・讃岐うどんなど、四国には多くの魅力があります。

今、香川県議会議員として残りの人生を、私を育ててくださったふるさと香川のより一層の活性化、引いては四国をはじめとした賑わいの創出に一生懸命汗をかき、未来の子どもたちに負担をかけない社会づくりに頑張ろうと考えています。四八会の皆さま、是非高松・四国へご来訪ください。歓迎させていただきます。

白門48会幹事  
カラオケ・合唱同好会

坂本 賢一

〒337-0052  
さいたま市見沼区堀崎町1122-2-211  
048-683-7595

白門48会幹事  
箱根駅伝応援団員

水野 勝敏

〒233-0016  
横浜市港南区下永谷3-53-13

## 横浜山手の丘散策と 横浜中華街昼食会

榎本 真一  
(文学部)

九月十七日、「中大横浜山手中高校見学・山手の丘散策と横浜中華街昼食会」という長い名前の四八会行事が行われました。集合場所のJR石川町駅に顔をそろえた参加者は二十四人。好天に恵まれたとはいえないものの薄くなった毛髪では頭皮が守れないながら海の見える坂道を登



プラフ18番館に立ち寄る一行



港の見える丘公園で小休止

りました。

横浜山手は散策路に洋館が点在し、そのうち九館が無料で見学できます。

わが一行は大丸谷坂からイタリア山庭園へと道をたどりプラフ一八番館と、隣接する外交官の家に立ち寄りしました。「プラフ一八番館」は、大正末期の外国人住宅、カトリック山手教会司祭館として使用されていた建物です。「外交官の家」は、明治末期の建築物で、国の重要文化財に指定されています。山手本通りを歩いてカトリック山手教会へ。バロック式の尖

塔が厳かな、シンボリックな教会ですが、中では結婚式が行われていて部外者は入ることができません。

教会のすぐ前にあるのが、本日見学のハイライト「中央大学横浜山手中学校・高等学校」です。横田幹事長が奉職するこの新しい付属校を幹事長自らが案内してくれました。

現在はまだ女子中・高で、生徒は女子ばかり。おじさん・おばさんの集団を恐怖のこもった眼で遠巻きに見ていました。教育熱心な田中好一校長が説明会を開いてくださり、キャッ

チフリーズ「附属以上の附属校へ。」の真意を熱弁。「皆さんのお孫さんを当校へ」との呼びかけに歳を感じる一同でした。

その後、さらに山手本通りを散策、ペーリックホール、エリスマン邸と洋館見学のはしご。「エリスマン邸」は、現代建築の父と呼ばれるA・レイモンドの設計。スパニッシュスタイルの「ペーリックホール」は、J・H・モーガンの設計です。

さらに一行は外国人墓地から「港の見える丘公園」へと歩を進めました。丘公園ではフェリス女学院職員の小松田会員が仕事を抜け出して一時合流、参加者が二十五人になりました(すぐに職場復帰しましたが)。

フランス山を下れば元町。谷戸橋を渡って中華街へ向かいます。ところが中華料理嫌いの新倉会員が離脱。残ったメンバーで中華街大通りの「同發本館」へ。店の前にできた行列を尻目に予約席に着座。宴会が始まりました。

昼食会とはいえビール・老酒をガンガン。「ソフトドリンクの人はいませんか」の問いにも「いませ〜ん」と、声がそろいます。下戸がひとりもない集団ってちょっと怖い。

午後の陽が傾くころにはすっかり出来上がっている一同でした。

白門48会幹事

江川 修 司

mail : y121@yomiss.co.jp

白門48会幹事

鈴木 茂

〒192-0052  
八王子市本郷町1-10  
090-2675-8390  
mail : artshigeru@gmail.com

白門48会幹事

中央大学学員会東京江戸川区支部副幹事長  
(株)ディスカバリー代表取締役

島崎 修

〒101-0064  
東京都千代田区猿樂町1-3-5  
03-3295-3060

白門48会幹事

中央大学学員会東京江戸川区支部副支部長  
小林国際交流研究所代表

小林 裕

〒132-0035  
東京都江戸川区平井1-17-22  
03-3636-1581

## 合唱・ハイキング・温泉 グルメ同好会の活動報告

佐藤 愛子  
(文学部)



合唱同好会の軽井沢合宿

合唱同好会は、第九を歌う合唱団を目指してという高い志で始めましたが、理想はひとまず置いて「まずは歌えるものからね」という先生に励まされ、発声練習から始めました。発声から歌唱指導まで忍耐強いご指導を頂いて早三年。今では挑戦曲も増え、音域も分かれて歌えるほど上達してきました。

練習成果を総会で披露したのですがメンバーが少人数で奥ゆかしいためか、実力が発揮できずさらなる猛特訓のため軽井沢合宿を行いました。合宿は、鮮やかな緑の木立、爽やかな風、鳥たちの合唱、防音付きの貸し切りコテージなどの素晴らしい環境の中で実施されました。

### 会費納入についてのお願い

会員の皆様には「白門48会」の活動に格別のご高配をいただき、厚くお礼申し上げます。おかげさまで、白門48会は本年創立13年目を迎え、年間を通して全会員を対象にした各種同好会活動や定例懇親会活動を柱に、楽しく活発な活動を展開しております。

さて、会の財政運営は会員の皆様の会費によってまかなわれております。

会の円滑な運営のために、なにとぞ会費納入にご協力くださるようお願い申し上げます。

会則により会費は1年3,000円ですが下記のように「一括納入割引」を実施しております。

会費は、納入か否かにかかわらず、会員全員に会報・ホームページ・各種案内の送付などに使用されています。会費を原資に当会の運営がなされていることにご理解をお願いいたします。

厳しい経済情勢のあり誠に恐縮ですが、事情ご賢察の上格段のご配慮をいただきたく何卒よろしくお願い申し上げます。

納入の種類	会費の額	割引額
会費(2011年分)	3,000円	割引なし
会費(3年分一括納入) (2011~2013年分)	8,000円	1,000円割引
会費(5年分一括納入) (2011~2015年分)	12,000円	3,000円割引

なお、銀行振込ご利用の場合は、下記までお振り込み願います。

三井住友銀行阿佐ヶ谷支店普通預金「7459559」  
口座名「白門48会 会計 佐藤 豊  
(ハクモンヨンハチカイ カイケイ サトウユタカ)」

白門48会連絡先

幹事長 横田利久(中央大学横浜山手中学高等学校)  
rikyu@tamajs.chuo-u.ac.jp  
TEL 045-641-0061 FAX 045-651-5124  
〒231-8650 横浜市中区山手町27

バーベキューでエネルギーを補給し、ビールで喉を潤して準備が整い、ひとたびマイクを握ると深夜まで途切れることなく歌の競演が続く、歌と酒に酔いしれながら楽しい軽井沢の夜は更けていきました。もちろん合唱課題曲も心を合わせて歌いこんだのには言うまでもありません。

合唱団は多くのメンバーが必要で、気楽な会です。一緒に歌ってみませんか？ 特に女性会員募集中ですが、男性諸氏も美人先生共々、お待ちしております。

ハイキング・温泉同好会は五月末に箱根旧道散策ツアーを実施しました。箱根旧街道ツアーは畑宿からスタートし、別名箱根八里といわれるデコボコしてほ歩き辛い石畳を登り東海道の箱根宿を目指しての行程です。

私は今回、いつでもリタイア出来る初心者向きとの小野塚代表の言葉につられ参加してみましたが、急な石畳の坂は登り切ったものの高血圧・寝不足・運動不足で老いた心臓が耐えきれず、まさかのリタイア……。気を取り直してバスにて箱根関所跡に移動、新倉氏とハイキング隊を待受け再合流。リタイアで気落ちした気分を皆さんが優しく気遣ってくださったのと、お蕎麦屋でお疲れさまの乾杯をしたら元気が出てきました。

箱根駅伝で有名な箱根ミュージアムに行き館長さんから大学駅伝史の深いお話を聞いて頂いた後、芦ノ湖を遊覧船で縦断、両模様で眺望がcaすんだロープウェイに乗り、大湧谷では名物の温泉黒玉子を頬張り、中強羅のホテルラフォーレに早々に到着。温泉で汗と疲れを流し夕食のステーキ・ワインで少しリッチな気分になり、その晩は全員爆睡。

白門48会学員会担当委員長

佐藤 愛子

〒192-0351  
八王子市東中野228-1101  
090-4098-7379

カレーetc.さすが老舗の味わいは絶品でした。

雨行程でしたが見応えのあるピカソ記念館にも立ち寄り、内容の濃い楽しい二日間になりました。

これからも皆さんの参加しやすいアイデアをお寄せください。